

平成 29 年度琉球大学法科大学院
B 日程（甲方式） 未修者コース 入試問題

小 論 文

平成 28 年 10 月 23 日（日曜日）
11 時 15 分～12 時 15 分（60 分）

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いないように受験してください。

- 1 この試験では、問題冊子 1 部、解答用紙 1 枚、下書用紙 1 枚を配布します。
試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この試験の解答として提出された小論文は、面接の際の資料として用いられます。
小論文に対する評価は、面接試験の得点の中で評価されます。
- 3 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 4 解答は、必ず解答用紙に記入して下さい。解答に用いたすべての解答用紙の所定欄に、
受験番号と氏名を記入してください。
- 5 黒色または青色であれば筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が
薄くならないように十分注意してください。
- 6 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 7 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。
配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。
問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 8 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

問題

次の**1～3**の文章は、いずれも本林靖久氏（宗教人類学者・僧侶）による『国民総幸福（GNH）』にみる「足るを知る」と経済成長－仏教的な生き方と社会の持続的発展をめぐって－と題する著述からの抜粋である（なお、誤植と思われる文字を一部修正してある）。各文章を読んで、【設問】に答えなさい。

※ GNH=Gross National Happiness

【文章】

（文章については、著作権の関係で、当Webページには掲載しておりません。）



(文章については、著作権の関係で、当Webページには掲載しておりません。)

(出典：日本GNH学会編集『GNH研究③ GNH研究の最前線』2016年 芙蓉書房出版)

【設問】

「人間の幸福や充足感」はどのようにして達成できると考えるか、あなたの考えを述べなさい。なお、その際、上記著述の筆者は、①どのような「生き方」をブータン王国における「仏教的な生き方」と説明し、②何が、その「生き方」を維持又は阻害すると説明しているか、について必ずふれること。

以 上